

週報

国際ロータリー第 2660 地区

平成 31 年 4 月 23 日

第 2844 回例会

第 2427 号



インスピレーションになる

豊中ロータリークラブ

広めよう ロータリーの心 地域とともに

創立 1959 年 6 月 16 日

2018～19 年度
国際ロータリー会長
バリー・ラシン
BE THE INSPIRATION

Rotary



2018.7～2019.6

会 長 武枝敏之
副 会 長 谷野桂子
幹 事 矢口正登
雑誌・広報・会報委員長
森本博明

本日（4 月 23 日）のプログラム

次回（5 月 14 日）のプログラム

「SDGs への取組について」

「がんの告知を受けて」

卓話担当：西蔵仁司

卓話担当：福盛康友

☆会長の時間☆

「クラブの将来ビジョンについて」

2018-19 年度 会長 武枝敏之

4 月に入り 4 クラブの周年事業に参加してまいりました。

それぞれのクラブの特徴が理解でき、参考にすべきことが多々ありました。それぞれのクラブは、国外の友好クラブや姉妹クラブ締結されており、その交流の密度も濃いことを目の当たりにしました。豊中ロータリークラブもシーロムロータリークラブとの交流はここ数年続いております。友好クラブについても検討してもよいかもしれせん。

先週の例会の後、未来計画委員会が開催されました。地区の今年度の方針でも戦略計画を活用し、クラブの中長期ビジョンの策定を上げておられます。

本年度の第 2660 地区ビジョンでは「魅力ある・元気ある・個性ある」が 3 つの目標になっています。

豊中ロータリークラブの特徴は何かを今一度振り返って見つめなおすことも大切です。

私たちのクラブを外から見た人には、伝統があり教育関係の奉仕活動を行うクラブとのイメージを持たれていると思われます。そのことは、誇りに思っよよいことだと感じます。最近は大変革とかフレキシビリティの必要性が広く語られる傾向にありますが、伝統に守られ継続している奉仕活動の数々は他クラブの人たちに理解していただく必要があります。教育フォーラムや出前授業の実施は他クラブの模範といえることかもしれません。また、大阪大学基礎工学部と理学部の留学生支援は独自の奉仕活動であり地区での認知に努める必要があります。先週の未来計画委員会では会員の皆様の考えておられる「豊中ロータリークラブの強み」は何か？このことを皆様にお教えいただくとの結論になりました。あたらしい会員さまも 2 名増加します。「魅力ある・元気ある・個性ある」クラブになるためには、何を継続し、何を变えるか会員全員で考えていただきたいと思っております。次回のトークインさくらではこのことを中心に話し合いたいと思っております。あと 2 か月になった今年度ですが、松山会長エレクトに良い伝統を引き継いでいただけるよう努力しなければと考えております。

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

事務局・例会場：〒560-0021 豊中市本町 3 丁目 1 番 16 号 ホテル アイポリー内
TEL 06-6858-1551 FAX 06-6857-0011

例 会 日 時：毎週火曜日 12 時 30 分より

事 務 局：10 時～16 時（土日祝を除く）

HP アドレス：www.sun-inet.or.jp/~jtrc2660/

メールアドレス：jtrc2660@sun-inet.or.jp

例会出席報告☆

	第2843回	第2840回
例会日	4月16日	3月19日
①会員数 A	37	35
(内出席免除者)	5	5
②出席義務者数	32	30
③出席義務者出席数	20	22
④出席免除者出席数	4	3
⑤メイクアップ数		2
⑥出席義務者欠席数	12	8
出席率 %	66.66%	81.00%

出席率(前回) = ③+④/②+④ 出席率(前々々回) = ③+④+⑤/②+④

○幹事報告○

- ・国際ロータリー第2660地区より
「2019-20年度に関する資料」が届きました。
- ・大阪中央RCより
「記念式典参加のお礼状」が届きました。
- ・池田くれはRCより
「記念式典参加のお礼状」が届きました。

☞ 掲 示 板 ☞

- ・第3回被選理事会開催の案内
日 時：4月23日(火) 本日例会終了後
場 所：ホテルアイボリー 例会場前
- ・春のRYLAセミナーの案内
日 時：4月27日(土) 28日(日) 29日(月・祝)
場 所：ホテルセイリュウ/枚岡公園/花園ラグビー場
ホスト：東大阪東ロータリークラブ

※4月30日は定款により休会です。
5月4日は春の家族会の振り替えの為休会です。

- ・春の家族会の案内
日 時：5月12日(日)
～京都先斗町鴨川踊りと八坂・中村楼～
- ・第11回定例理事会開催の案内
日 時：5月14日(火) 例会終了後
場 所：ホテルアイボリー3F 例会場
- ・規定審議会
日 時：5月18日(土)
場 所：YMCA
- ・トーク in さくら開催の案内
日 時：5月23日(木)
場 所：みな川 TEL:06-6152-6522
- ・ガバナー補佐エレクト訪問
日 時：5月28日(火) 例会場
12:00から懇談会があります。
懇談会場所：ホテルアイボリー3F 例会場前

唱歌担当：

- ・5月14日 「我がロータリーに栄あれ」
小牧会員
- ・5月21日 「茶摘み」
西蔵会員

◆4月16日のニコニコ箱報告◆

- ・お世話になりました。 山形会員
- ・澤木会員にゴルフの参加賞を頂いて 米田、武枝各会員
- ・福盛会員にお世話になりました。 佐川会員
- ・眞下会員にお世話になりました。 奈須会員
- ・米田会員、横田会員送り迎え有難うございました。 木村会員
- ・ゴルフコンペにたくさんのご寄付有難うございました。 矢野会員
- ・ゴルフコンペにたくさんのご参加有難うございました。 武枝会員
- ・ゴルフコンペで優勝致しました。 横田会員
- ・ゴルフコンペで二位でした。 豊島会員
- ・ゴルフコンペで私は三位、妻はBBでした。 佐川会員
- ・ゴルフコンペで五位でした。 武枝会員
- ・ゴルフコンペで馬が当たりました。 矢口会員

♪本日の唱歌♪

「バラが咲いた」

作詞作曲：浜口庫之助

バラが咲いた バラが咲いた
真赤なバラが
淋しかった ぼくの庭に
バラが咲いた
たったひとつ 咲いたバラ
小さなバラで
淋しかった ぼくの庭が
明るくなった
バラよ バラよ 小さなバラ
そのままに そくに咲いてておくれ
バラが咲いた バラが咲いた
真赤なバラで
淋しかった ぼくの庭が
明るくなった

バラが散った バラが散った
いつの間にか
ぼくの庭は 前のように
淋しくなった
ぼくの庭の バラは散って
しまったけれど
淋しかった ぼくの心に
バラが咲いた
バラよ バラよ 心のバラ
いつまでも ここで咲いてておくれ
バラが咲いた バラが咲いた
ぼくの心に
いつまでも 散らない
真赤なバラが



唱歌担当：小牧義昭

❀新会員のご紹介❀

○狩野 裕 (かの ゆたか) 新会員



入会日：2019.4.9
生年月日：1958.11.11
職業分類：大学理工系
推薦者：畑田・武枝各会員
事業所：大阪大学基礎工学研究科

❀新会員のご紹介❀

○田畑 榮彦 (たばた ひでひこ) 新会員



入会日：2019.4.9
生年月日：1955.1.6
職業分類：葬祭業
推薦者：豊島・武枝各会員
事業所：(株)北大阪セレモニー



狩野裕会員、田畑榮彦会員

ご入会おめでとうございます。

会員一同、心より歓迎申し上げます。



☞4月16日の卓話☞

「地域医療構想」

卓話担当： 眞下 節



厚生労働省は、団塊世代が後期高齢者となる2025年を見据えて、超高齢化社会に最適な医療提供体制を二次医療圏ごとに構築することを目的として、2016年に地域医療構想を策定しました。地域医療構想は、全ての病院が入院病床を機能別に分けることによって患者さんの病状に応じて適切な医療を分担して提供することと、地域包括ケアシステムを医療面で支える在宅医療の充実を推進すること、の二本柱からなっています。一つ目の柱である病床機能の分化・強化と連携は、全ての病院が高度急性期、急性期、回復期および慢性期の4区分に病床機能を明確に分けて、それぞれの機能に合ったより質の高い医療を提供することを目指しています。さらに、患者さんに切れ目のない医療を提供することを目的に、病床機能を異にする病院間でお互いの連携を緊密にすることが求められています。

豊能二次医療圏においては、2025年には急性期病床は過剰になると予測されますので他の病床機能への転換が必要ですが、急性期医療を受けた後の患者さんの受け皿となる回復期病床は大幅な不足が予測されています。そこで、2017年度から各二次医療圏において病院の医療機能の分化と連携を推進するための協議が開始されました。最初は病床機能報告や医療計画データブック等を踏まえた各病院の役割分担について確認を行い、次に地域において整備が必要な医療機能を具体的に示して機能ごとに不足を補うための具体策を協議、病院名を挙げた上で機能分化・連携・転換について決めていくことになりました。機能転換をする病院が決まると進捗評価のための指標を決定するという段取りで、各二次医療圏の調整会議において2年の期間でこれらの問題を集中的に検討することになりました。しかし、病床機能の転換は病院にとって極めて大きな問題ですので、地域の数病院からの代表しか出席できない調整会議の議論だけでは二次医療圏内の病床転換に伴う病院間の利害対立は解消できないのではないかと危惧されます。さらに、病院間連携の緊密化によって地域に見合った医療提供体制を構築していくことも調整会議の重要な課題です。大阪府は、2018年度が地域医療構想の推進にとって非常に重要な年になることを受けて、病院が病床転換や病々連携について自主的に取り組みを進められるように、大阪アプローチとして二次医療圏単位で公私の全病院が参加して意見交換を行う病院連絡会を新たに設置しました。公私に関係なく全病院が参加する病院連絡会を新たに設置して各構想区域の医療提供体制構築の推進を本格化させるためです。病院連絡会の開催を契機に各病院が病床機能の見直しと将来の方向性を示し、2025年に向かって地域医療構想が進み始めました。

今後、公立・公的病院の機能や役割が当該医療機関でなければ担えないものに重点化されているかどうかを、がん治療や周産期医療、救急医療などについて診療実績などを指標に分析していくことになるようです。その結果を踏まえて、地域医療構想アドバイザーが対象病院に対して必要となる病床転換などの指導を行っていくこととなります。

- ・ 5月チーフ：森本会員
- ・ ◎副幹事・副SAA当番◎

- ・ 5月副幹事 渡 達也 会員
- ・ 5月副SAA 奈須正典 会員

◎親睦委員会受付当番

- 5月14日 小牧会員 松本会員
- 5月21日 米田会員 渡会員